

地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより



秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 発行

第 42 号

～ 新年度を迎えて ～

地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 副センター長 秋山 みどり

日頃より、センター運営に多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

今春、平成 30 年度診療報酬改定・介護報酬改定がありました。医療と介護のダブル改定は、実に 6 年ぶりであり、大変大きな注目を集めたのはご承知のとおりです。現在、各部門では、様々な対応に追われていることと思います。

今改定では、「地域包括システムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進」が重点課題として掲げられました。患者さんの状態等に応じて、質の高い医療が適切に受けられるとともに、必要に応じて介護サービスと連携・協働する等、切れ目ない医療・介護提供体制が確保されることが重要であること、また医療機能の分化・強化、連携を進め、効果的・効率的で質の高い医療体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築していくことが必要であると示されました。

当センターは、相談支援・情報収集・情報提供を行い、医療サービスと介護サービスの切れ目ない提供や役割分担・連携のために退院転院支援などの地域連携と情報伝達などを行っています。今まさに、粛々と取り組んでいることが評価され、かつエールをいただいたような心強さと、今後、益々役割発揮して、地域包括ケアシステムの構築と連携の強化に取り組んでいかなければいけないこと

が明確に示されたと感じ、あらためて身の引き締まる思いで、新年度を迎えています。

今年度のセンター目標は、下記に示す通りです。

1. 多職種・他部門とのコミュニケーションを推進し、退院支援に関わる連携体制を強化する
2. がん相談・支援の充実を図る

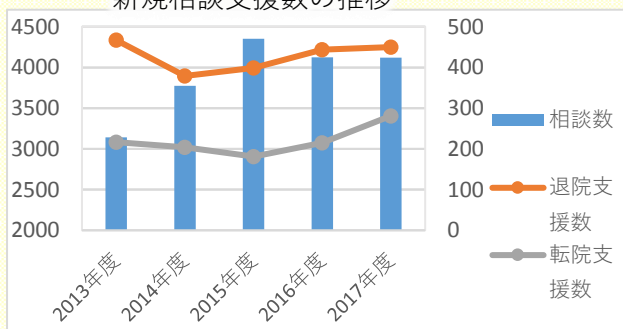
具体的には、退院支援プロセスファイルの改訂・周知、退院支援に関する医療従事者向け研修の企画・実施、院外関係機関の施設訪問、医療相談対応記録の診療支援システムへの連携機能検討、前方支援のシステム整備、在宅医療に関わる院内体制整備（衛生材料、薬剤等）、がん患者さんの治療と仕事の両立支援、ピアランス支援・ピアサポートに関する院内体制整備等に、取り組んでいく予定です。

目標達成に向けて、今年度は、医師 3 名、看護師 12 名、MSW4 名、事務員 2 名、医療サービス室 4 名の計 26 名（兼任含む）で、スタートしています。経験豊かな充実した人材が集結しました。幸せなことに、がん看護専門看護師 1 名が新たに配置となりました。より専門性を発揮し活躍することが期待されます。それぞれが個々の役割を十分理解し、持っている力量を遺憾なく発揮し、活動していく所存です。

今年度も、皆様のご指導とお力添えをどうぞよろしく願いたします。

平成 29 年度活動報告

新規相談支援数の推移



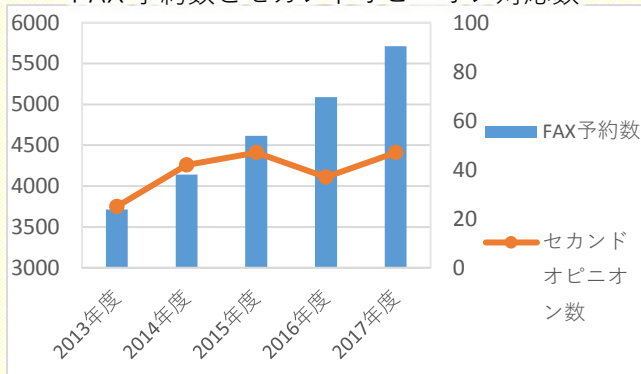
平成 29 年度の新規医療相談は 4,120 件、そのうちがん相談は 1,250 件（+41）でした。

退院支援は 450 件(+6)、転院支援は 281 件(+67)あり、年々増加しています。

病棟や外来において、病状や治療方針を説明する際、調整部門としての同席を求められることが増加しています。今後も、患者さんやご家族が望む療養・生活環境が整うよう多職種や関係機関と連携を図りながら情報提供し、支援していきたいと思ひます。

→裏面へ続く

FAX 予約数とセカンドオピニオン対応数



平成 29 年度の FAX 予約数は 5714 件 (+626) でした。各診療科のご協力による予約枠の拡大が効を奏していると考えます。FAX 予約数は、年間約 500 件ベースで増加しており、予約業務に関する前方支援の業務整理・改善が直近の課題です。

セカンドオピニオンは 47 件 (+10) で、13 診療科にご対応いただきました。

今後も、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成 30 年度地域医療患者支援センター・がん相談支援センター

< センター担当者 >

センター長：廣川 誠

副センター長：安藤秀明、神林 崇、秋山みどり

担当者：山田綾子、坂谷慶子

看護師 (9 名)：田口弘美、今野麻衣子、熊澤祐子
堀川 愛、目黒真澄、藤原美那子
瀬田川美香、佐藤京子、沼倉恵美

MSW (4 名)：小川江美、金子幸太、滝口 萌、
杉澤 幸

事務補佐員：内田隆子、ニチイ学館：福井寛子

医療サービス室：小林一俊、山形知子、吹谷美穂
大川真之介

< 病棟担当表 >

※ 退院調整看護師と MSW は、ベアで病棟を担当します。

※ 退院調整看護師は、医療・看護・衛生材料等を主に担当します。

MSW は、福祉・医療費・経済問題等を主に担当します。

※ がん看護専門看護師は、退院調整看護師・MSW と共に、意思決定支援、がん相談等のサポートをします。



		退院調整看護師	MSW
1-1	放射線 歯口外 救急	田口	滝口
1-4	脳神外 皮膚科	熊澤	杉澤
1-5	小児科 NICU/GCU	堀川	滝口
1-6	消化外 食道外	熊澤/沼倉	小川
1-7	呼吸外 乳甲外 眼科	京子/目黒	滝口
1-8	整形外 神経内	藤原/沼倉	杉澤
2-2	泌尿器 糖尿内	京子/瀬田川	杉澤
2-3	精神科	堀川	金子
2-4	循環器 心血外	目黒	金子
2-5	産科 婦人科	堀川	滝口
2-6	消化内 腫瘍内	田口/藤原	小川
2-7	呼吸器 耳鼻科	堀川/瀬田川	金子
2-8	血液内 腎リウマチ	京子	小川
ICU1. 2		※ 病棟転出後ケースに応じて 担当者を決定	※ 当該診療科担当者
外来		※ 随時対応 ※ 外来→入院の場合 ケースに応じて、担当者を決定	

～ 新メンバーより ～

山田綾子 副看護部長

今年度から担当者となりました看護部の山田綾子です。多職種顔の見えるコミュニケーションが、患者さんご家族のためになると考えます。院内・院外の連携が、患者さんご家族の安心にも繋がるように、役割を果たしていきたいと思ひます。

今野麻衣子 がん看護専門看護師

3 年ぶり 2 度目の配属となりました。

がん看護専門看護師として、がん患者さん・ご家族の相談・支援に尽力していきたいと思ひます。がん患者さん・ご家族の支援でお困りの際にはご相談ください。

沼倉恵美 看護師

4 月より配属となりました。

患者さんが入院中、退院後も安心して療養が続けられるよう、コミュニケーションを大事にし、支援していきたいと思ひます。